



令和元年度

学校要覧



岡山大学教育学部附属特別支援学校（知的障害教育）

〒703-8282 岡山市中区平井三丁目914番地

TEL : (086) 277-7431(代) FAX : (086) 277-7673

Mail : tokushi@okayama-u.ac.jp URL : <http://futoku.okayama-u.ac.jp/>

目 次

1. 本校の使命	1
2. 沿 革	1
3. 教育のめあて	2
(1) 学校教育目標	
(2) 指導の重点	
4. 年間行事予定	3
5. 教育課程	4
(1) 小学部	
(2) 中学部	
(3) 高等部	
(4) 発達支援室	
6. 児童生徒の状況	6
(1) 児童生徒数（学級・男女別）	
(2) 通学区域	
7. 卒業生の進路状況	6
(1) 年次別卒業生数	
(2) 高等部卒業生の就職先	
8. 教育実習	7
9. 教育相談	7
10. 入学案内	7
11. 研究のあゆみ	8
12. 研究発表会の案内	8
13. 校務分掌組織	9
14. 教職員	9
15. 教室配置図	10
学校案内図	11

校 歌

青きりあおあお あのように

枝もすくすく いせいよく

学校の庭に 茂ってる

ぼくらは伸びよう がんばろう

雨にも風にも 負けないで

小鳥はこやで 遊んでる

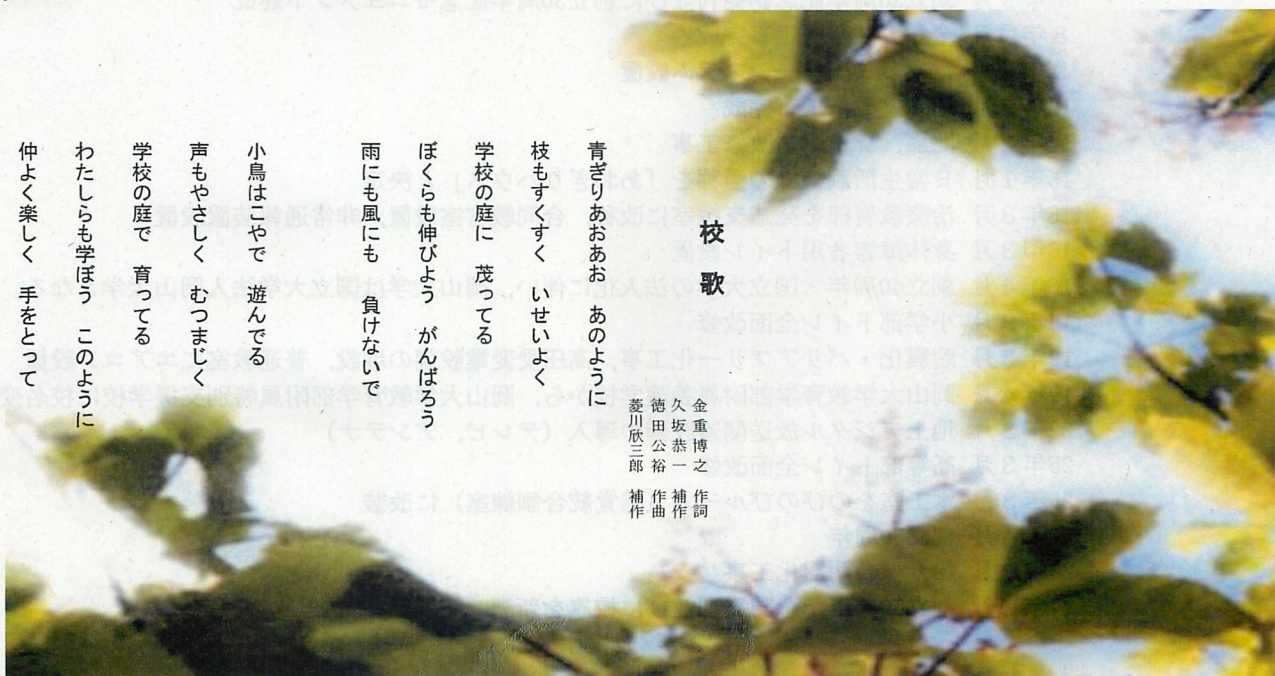
声もやさしく むつまじく

学校の庭で 育ってる

わたしらも学ぼう このように

仲よく楽しく 手をとって

金重博之 作詞
久坂恭一 補作
徳田公裕 作曲
菱川欣三郎 補作



1. 本校の使命

- 1) 教育基本法, 学校教育法, その他の教育関係法規に基づき, 知的障害のある児童生徒の教育にあたる。
- 2) 教育実習の場として教育学部学生の指導にあたる。
- 3) 教育学部と一体になり, 特別支援教育の理論及び実践に関する研究を行い, 関係機関と協力して広く教育界の進展に寄与する。

2. 沿革

- 昭和25年4月 附属小学校に学習不振児・中間児の特別学級を新設
27年4月 附属小学校に精神薄弱特殊学級（1学級）を新設
30年4月 附属小学校の特殊学級を1学級増設
34年4月 附属中学校に特殊学級（1学級）を新設
40年4月 附属小・中学校特殊学級を改組し, 附属養護学校（小学部3学級・中学部3学級）を岡山市門田の附属小・中学校敷地内に新設
43年3月 現在地（岡山市平井三丁目914番地）に新校舎完成
43年4月 新設校舎（高等部棟を除く）に移転完了・高等部（1学級）を新設
44年4月 高等部1学級増設
45年3月 高等部棟完成
45年6月 小学部を対象として治療教室を特設
47年3月 プール完成
50年4月 創立10周年
51年3月 運動場拡張・整備
54年3月 築庭・中庭の整備及び諸施設・設備完了
56年4月 治療教育部を設置
59年3月 運動場東側（国旗掲揚台付近）整備
60年4月 創立20周年
平成5年9月 体育館完成
6年4月 創立30周年
6年12月 校舎・プールの全面改修工事及び日常生活訓練棟の新築工事完成
7年9月 創立30周年記念誌発刊並びに創立30周年記念モニュメント建立
8年11月 全館ガス暖房工事完成
9年3月 コンピューターシステム設置
12年3月 給食室改修工事完成
14年2月 門扉, フェンス改修工事
15年1月 日常生活訓練棟の愛称を「あおぎりハウス」と決定
15年3月 治療教育部を発達支援室に改称, 合同教官室設置, 非常通報装置設置
16年3月 身体障害者用トイレ設置
16年4月 創立40周年 国立大学の法人化に伴い, 岡山大学は国立大学法人岡山大学となる。
16年9月 小学部トイレ全面改修
19年3月 耐震化・バリアフリー化工事, 高圧受変電設備の増設, 普通教室にエアコン設置
19年4月 岡山大学教育学部附属養護学校から, 岡山大学教育学部附属特別支援学校に校名変更
22年3月 地上デジタル放送関連設備の導入（テレビ, アンテナ）
25年3月 高等部トイレ全面改修
25年3月 木工室をのびのびルーム（感覚統合訓練室）に改装
26年4月 創立50周年
26年9月 給食棟の耐震化工事
27年11月 創立50周年記念誌発刊並びに校旗を新調

3. 教育のめあて

(1) 学校教育目標

小学部・中学部・高等部の課程を通して、調和のある一貫した指導を行い、児童生徒の全人的な発達を促し、主体的に社会生活に参加できる人間の育成を目指す。

(2) 指導の重点

小学部 - みんなといっしょにのびのびと

- 基本的な生活習慣の形成を図る。
- 学級を中心としながら集団生活への参加を促す。
- 興味・関心の拡大を図り、社会生活に必要な基礎的な能力と態度を養う。

中学部 - 仲間とともに生き生きと

- 基本的な生活習慣の確立を図る。
- 生活経験の拡大を図り、集団生活への積極的な参加を促す。
- 体験的な活動を通して、社会生活に必要な知識・技能・態度を養う。

高等部 - 心豊かにたくましく

- 自己を管理し、心身ともに健康に生活するための力を育てる。
- 自他を尊重し、集団の中で自分の役割を積極的に果たすことができる力を養う。
- 主体的な社会参加に必要な知識・技能・態度を養う。

発達支援室 - 一人一人のニーズに応じて

- 抽出指導により、コミュニケーション、人間関係の形成、心理的な安定などについての学習上又は生活上での困難の改善を図る。



遊びの指導（小学部）



販売学習（中学部）



校内現場実習（高等部）



自立活動：抽出指導（発達支援室）

4. 年間行事予定

月	全 校	小学部	中学部	高等部	PTA(P)/同窓会(同)
4	前期始業式 入学式 学級・学部懇談 家庭訪問	新入生歓迎集会 春の遠足	新入生歓迎集会	新入生歓迎会	評議員会 (P) 幹事会 (同)
5	学習参観日 PTA総会 運動会			岡山県障害者 スポーツ大会 就職相談会 (3年)	総会, 事業部会 (P) 附属学校園PTA連絡協 議会 (P)
6	新入生個人懇談 水泳指導 学校公開 介護等体験	附小との交流 親子給食会		前期現場実習	総会・パーティー (同)
7	学習参観日・学級 (部) 懇談 参観週間 夏休み前集会 卒業生77ターゲ7	校内宿泊学習 (2組)			会誌発行 (P) プール開放 (P)
8	除草作業				除草作業 (P)
9	夏休み後集会 学校公開 個人懇談 前期終業式				評議員会 (P) 校内美化活動 (P) 会誌発行 (P)
10	後期始業式	修学旅行 (3組) 	修学旅行 (3年)	修学旅行 (3年) 後期現場実習 	研修旅行 (P) 全附連PTA研修会 (P) 事業所研修 (P)
11	入学選考	秋の遠足 	販売学習		一日旅行 (同) あすにはばたく集い (P) 附属学校園PTA連絡協議会 (P) 中附連PTA研修会 (P) 廃品回収 (P) 事業所研修 (P)
12	学校祭 冬休み前集会				
1	冬休み後集会 学習参観日・学級 (部) 懇談 介護等体験 研究発表会			移行支援会議 (3年)	評議員会 (P) 校内美化活動 (P) 廃品回収 (P)
2	個人懇談		作業週間	校内宿泊学習 (3年)	ボウリング大会 (同)
3	卒業証書授与式 修了式	卒業生を送る会	卒業生を送る会	3年生を送る会	会誌発行 (P) 廃品回収 (P)

5. 教育課程

(1) 小学部

週時程表

	月			火			水			木			金		
	1組	2組	3組	1組	2組	3組	1組	2組	3組	1組	2組	3組	1組	2組	3組
8:45	登校														
9:10	着替え・朝の支度(日常生活の指導)														
9:35	朝の会(日常生活の指導)														
9:55	朝の運動(体育)														
10:10	朝の会(日常生活の指導)														
10:50	ことば・かず(国語・算数)														
11:05	図画工作														
12:05	生活単元学習／生活学習／遊びの指導(1・2組のみ)														
12:05	給食・歯磨き等(日常生活の指導)・休憩														
13:30	*日常生活の指導	休憩	*日常生活の指導	*日常生活の指導			*日常生活の指導			*日常生活の指導			*日常生活の指導		
14:30	13:30下校	音楽	13:30下校	体育 遊びの指導			13:30下校			音楽 図画工作			*日常生活の指導		
15:00	15:00下校	*日常生活の指導	15:00下校	*日常生活の指導			15:00下校			15:00下校			15:00下校		

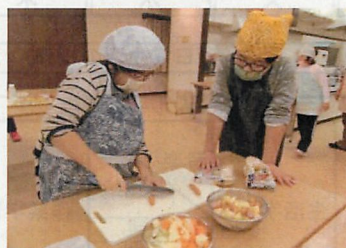
*日常生活の指導には、着替え、帰りの支度、帰りの会を含む

小学部備考

- ・「生活単元学習」： 児童の生活に即した具体的・実証的な活動を通して、意欲的な姿勢を育てていくとともに、自立的な生活に必要な事柄を総合的に身に付けていく学習
- ・「生活学習」： 家庭生活、地域生活に必要な力や職業生活につながる力、それらの基盤となる力を育てる学習
- ・「遊びの指導」： 遊びを学習活動の中心に据え、人や物と関わりながら、主体的に遊ぶ姿を目指し、活発に体を動かしたり、他者と関わったりしながら諸活動に対する意欲を高めたりする学習
- ・「ことば・かず」： 国語・算数の教科や言語・視知覚を主とした基礎能力にかかわる内容を取り上げ、個々の実態に応じた指導課題を選定し、小集団で行う学習
- ・「ひまわりタイム」： 小学部全体で行う集会活動。みんなの前で発表したり友だちと一緒に活動したりすることを通して、社会性や自主性を育てる学習



音楽



宿泊学習

(2) 中学部

週時程表

	月	火	水	木	金
	登 校				
8:45	更衣等(日常生活の指導)				
8:55	朝の会(日常生活の指導)				
9:10	朝の運動(保健体育)				
9:40	学 級 活 動 / 生 活 学 習				
10:05	部集会/委員会活動	国 語 ・ 数 学			
					チャレンジタイム
10:45	休 憩				
11:00	生活単元学習 / 生活学習	音楽	美術	生活単元学習/生活学習	
12:10	給食・歯磨き等(日常生活の指導)・休憩				
13:20	作業学習 [工芸/陶芸]	美術	作業学習 [工芸/陶芸]	更衣等・帰りの会 (日常生活の指導)	保健体育
		音楽		13:30 下校	
14:30	清掃・更衣等(日常生活の指導)				清掃・更衣等 (日常生活の指導)
15:00	帰りの会(日常生活の指導)				帰りの会 (日常生活の指導)
	15:15 下 校				
	15:15下校				



生活単元学習



販売学習

中学部備考

- ・「生活単元学習」： 生徒の生活に即した具体的・実証的な活動を通して、意欲的な姿勢を育てていくとともに、自立的な生活に必要な事柄を総合的に身に付けていく学習
- ・「生活学習」： 家庭生活、地域生活に必要な力や職業生活、余暇生活等につながる力を育てる学習
- ・「作業学習」： 工芸、陶芸の活動を通して、働く意欲や自信を育てる学習
- ・「チャレンジタイム」： 総合的な学習の時間として、生徒の実態に応じて、横断的・総合的な活動や生徒の興味関心に基づく活動等を通して、学び方やものの考え方を身に付け、主体性を育てる学習

(3) 高等部

週時程表

	月	火	水	木	金
8:45	登 校				
8:50	更衣等(日常生活の指導)				
9:10	朝礼	朝の運動			
9:35	ホームルーム活動				
10:15	作業学習	生活学習B	音楽	作業学習	作業学習
10:30			美術		
10:45			休憩		
11:00			あおぎり タイム		
12:10	給食・歯磨き等(日常生活の指導)・休憩				
13:20	生活単元学習 ／ 生活学習A	生活単元学習 ／ 生活学習A	保健体育	更衣等(日生) ホームルーム活動 13:30 下校	生活単元学習 ／ 生活学習A
14:30	清掃・更衣等(日常生活の指導) ホームルーム活動			15:20 下校	清掃・更衣等 (日生) ホームルーム活動
15:20	15:20 下 校				15:20下校



音 楽



友楽園との交流

高等部備考

- ・「生活学習」： 家庭生活や地域生活、職業生活に関する内容を中心に扱う学習。週時程上の「生活学習A」は学年を単位とした授業形態とし、「生活学習B」は高等部全体を課題別に分けた縦割りグループで行う授業形態とする。
- ・「作業学習」： 農耕と陶芸の活動を通して、職業生活や社会生活に必要な知識、技能、態度を育て、労働に対するやりがいや意欲などの実践的な態度を高める学習
- ・「あおぎりタイム」： 生徒会専門委員会(代表・掲示・美化)の活動と、総合的な学習の時間として、地域の様々な人・団体等との交流及び共同学習とに取り組む学習

(4) 発達支援室

自立活動の時間における指導

- ・コミュニケーション、人間関係の形成、心理的な安定などについての課題を有し、個別の指導が有効であると思われる児童生徒を抽出して指導を行う。
(今年度の対象児童生徒は18名程度)
- ・指導にあたっては、個々の児童生徒の障害の状態や発達の程度等の的確な把握に基づき、指導のねらい及び指導内容を明確にし、個別の指導計画を作成する。
- ・所属部・学級、保護者、関係諸機関との連携を図りながら指導を行う。
- ・対象児童生徒一人について、週2回の指導(1回の指導時間は40分)を原則とする。



自立活動(抽出指導)

教育活動全体を通じて行う自立活動の支援

- ・個別の指導計画の作成・評価の際に、学級担任と相談・検討を行う。
- ・個々の児童生徒に対して、諸検査(WISC-IV、新版K式発達検査、LDT-R等)を実施する。

6. 児童生徒の状況

(1) 児童生徒数（学級・男女別）

学部	小学部				中学部				高等部				総計
学級	1組	2組	3組	小計	1年	2年	3年	小計	1年	2年	3年	小計	
男	4	6	5	15	1	5	4	10	4	5	2	11	36
女	2	0	1	3	5	1	2	8	4	1	6	11	22
計	6	6	6	18	6	6	6	18	8	6	8	22	58

(2) 通学区域

	小学部			中学部			高等部			総計
	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	
岡山市	15	2	17	6	7	13	9	11	20	50
玉野市			0	1		1	1		1	2
倉敷市			0	3		3	1		1	4
瀬戸内市		1	1			0			0	1
津山市			0		1	0			0	0
計	15	3	18	10	8	18	11	11	22	58

7. 卒業生の進路状況

(1) 高等部卒業生の進路状況

卒業年次	生徒数			進路先						備考
	男	女	計	就職	家業	家事	施設	進学	その他	
昭和45～平成18年	222	140	362	209	5	14	127		6	昭和45年度が第1期 *平成22年から就職は、就労継続支援A型事業所を含む
平成19年	4	4	8	3			5			
平成20年	3	5	8	4			4			
平成21年	8	0	8	1			7			
平成22年	6	2	8	3			5			
平成23年	5	2	7				7			
平成24年	4	3	7	2			4	1		
平成25年	4	2	6				6			
平成26年	7	0	7	3			4			
平成27年	4	3	7	4			3			
平成28年	4	4	8	3			5			
平成29年	8	0	8	3	1		4			
平成30年	6	2	8	3			5			
合計	285	167	452	238	6	14	186	1	6	

(2) 高等部卒業生の就職先

就 職	合計
製造業	金属加工 2
	木材加工 1
	食品製造 5
	リサイクル 1
	製本 1
サービス業	事務補助 7
	清掃 12
	製品管理 3
	販売 1
	厨房 4
	軽作業 4
合計	41

(平成13年～30年)



8. 教 育 実 習

種 類	期 間
① 学校教育教員養成課程・養護教諭養成課程1年次実習	〈290名〉 1日
② 特別支援教育コース2年次特別支援教育実習	〈15名〉 1週間
③ 特別支援教育コース3年次特別支援教育実習 特別支援教育特別専攻科特別支援教育実習	〈23名〉 3週間
④ 副免許Ⅰ期特別支援教育実習 副免許Ⅱ期特別支援教育実習	〈10名〉 2週間 2週間
⑤ 2年次観察・参加実習	〈7名〉 2日
⑥ 養護教諭養成課程3年次実習	〈5名〉 1週間
⑦ 養護教諭特別別科一日実習 養護教諭特別別科分散実習	〈40名〉 1日 〈5名〉 1週間

9. 教 育 相 談

原則として、毎月第1, 3水曜日(15:30～17:00)に、次のような相談に応じています。

① 発達相談, 就学・進路相談

② 教育実践に関する相談

(指導の内容と方法, アセスメントの方法, 発達障害児への支援など)

事前に、以下までご連絡下さい。HP上からも申し込みができます。

Tel. (086) 277-7431 Fax. (086) 277-7673 (担当: 特別支援教育コーディネーター)

Mail: tokushi@okayama-u.ac.jp

10. 入 学 案 内

1 応募資格

- ① 知的な障害があり、視覚障害、聴覚障害、肢体不自由など、その他の障害が著しくない者
- ② 一人または保護者の付き添いで、自宅から安全に通学できる者
- ③ 小学部にあつては、令和2年度に小学部に就学見込みの者
- ④ 中学部にあつては、令和2年3月に小学校もしくは特別支援学校小学部を卒業見込みの者
- ⑤ 高等部にあつては、中学校もしくは特別支援学校中学部を卒業した者、または令和2年3月に中学校もしくは特別支援学校中学部を卒業見込みの者

2 募集人員

小学部, 中学部, 高等部それぞれ若干名

3 選考期間

- ① 募集公示 8月31日 予定
- ② 願書受付 10月初旬～中旬
- ③ 入学選考 11月初旬

4 出願手続き

事前に来校し、本校の実状を十分に理解した上で、入学願書等所定の書類を受け取ってください。

本校の実状理解のために、次のような機会があります。あらかじめ電話連絡の上、ご来校ください。

- ① 就学相談 随時
- ② 授業参観 随時
- ③ 学校公開 第1回 6月13日(木) 第2回 9月12日(木)

5 選考方法

諸検査及び面接を行います。

詳しくは、募集要項(8月31日公示予定)をご覧ください。

11. 研究のあゆみ

昭和40年～42年	学習指導法	・ 学習指導法とその効果A ・ 指導過程の細分とその効果B ・ 転移を高める指導法C	
昭和43年～45年	治療教育と適応	1 (基礎能力)	(研究紀要 第1号)
昭和46年～47年	治療教育と適応	2-1 (基礎能力・自己概念・学力)	(研究紀要 第2号)
昭和48年～49年	治療教育と適応	2-2 (基礎能力・自己概念・学力) (基礎能力に関する指導内容表)	(研究紀要 第3号)
昭和50年～52年	治療教育と適応	2-3 (基礎能力・自己概念・学力) (行動観察目録)	(研究紀要 第4号)
昭和53年～54年	治療教育と適応	3-1 (基礎学力)	(研究紀要 第5号)
昭和55年～56年	治療教育と適応	3-2 (基礎学力) (国語科指導内容表)	(研究紀要 第6号)
昭和57年～61年	生産技能育成のための発達に即した系統的指導課題及び指導法 の設計		(研究紀要 第7号) (研究紀要 第8号)
昭和62年～平成3年	自立的生活を支える課題解決力と行動体力		(研究紀要 第9号) (研究紀要 第10号)
平成4年～8年	生活者として子どもをとらえなおす		(研究紀要 第11号) (研究紀要 第12号)
平成9年～11年	個が生きる授業づくり		(研究紀要 第13号)
平成12年～13年	個に応じた指導を行うための個別の指導計画の作成と活用-I期		(研究紀要 第14号)
平成14年～15年	個別の指導計画の作成と活用-II期		(研究紀要 第15号)
平成16年～17年	一人一人の多様な教育的ニーズに応じた指導・支援の充実をめざして		(研究紀要 第16号)
平成18年～19年	社会性の育成を目指した授業づくり		(研究紀要 第17号)
平成20年～21年	一人一人のより豊かな社会参加を目指して		(研究紀要 第18号)
平成22年～23年	将来の社会生活を主体的に生きるために		(研究紀要 第19号)
平成24年～25年	確かな学びにつながる授業づくり～キャリア教育の充実を目指して～		(研究紀要 第20号)
平成26年～28年	知的障害のある児童生徒に対して教育活動全体で行う自立活動の指導		(研究紀要 第21号)
平成29年～	知的障害教育における「主体的・対話的で深い学び」を目指した授業づくり		

12. 研究発表会の案内

1 開催日

令和2年1月25日(土)

2 会場

岡山大学 教育学部(例年と会場が異なります。)

3 内容

全体会

ビデオによる授業公開

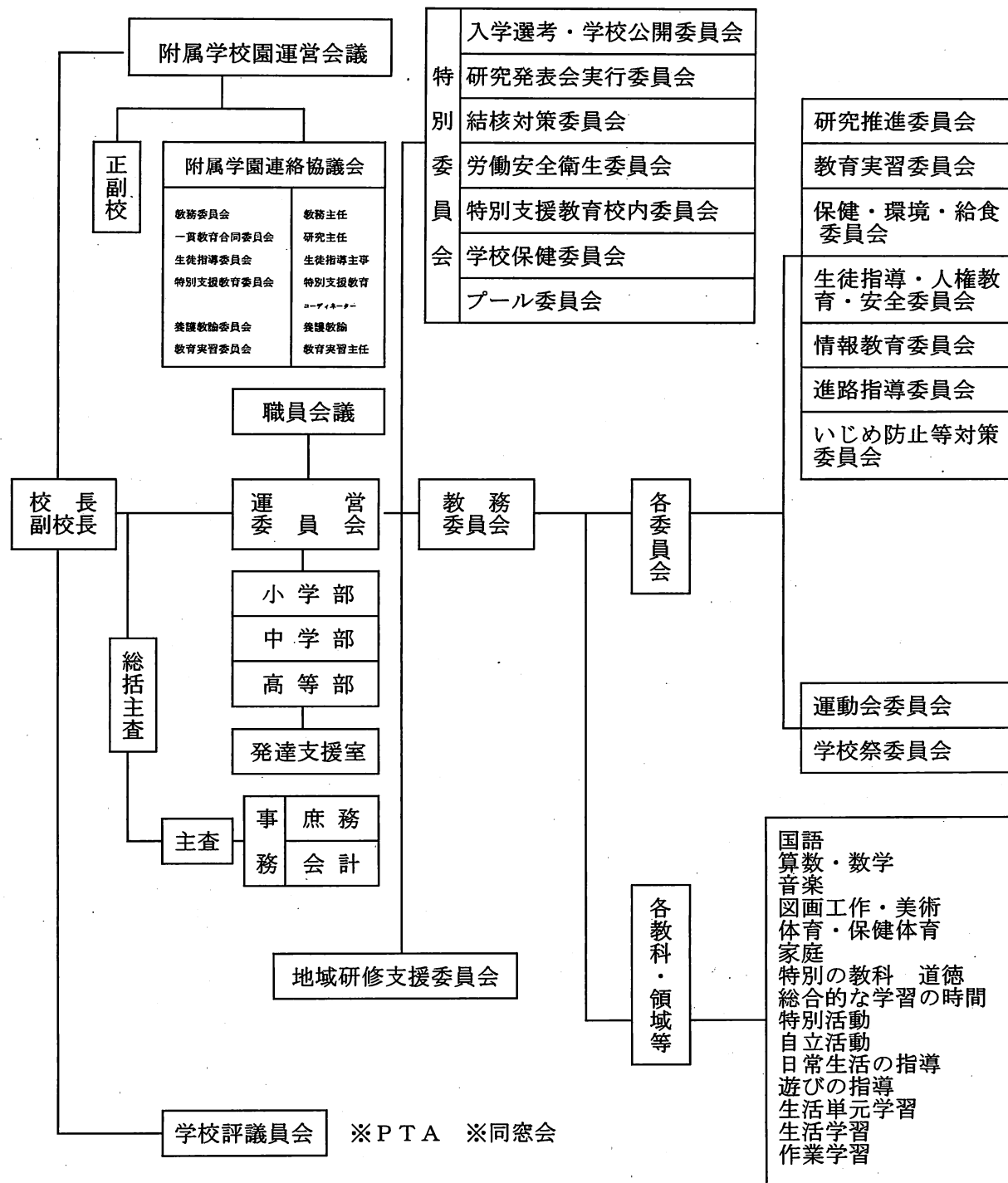
分科会

講演



全体会

13.校務分掌組織図

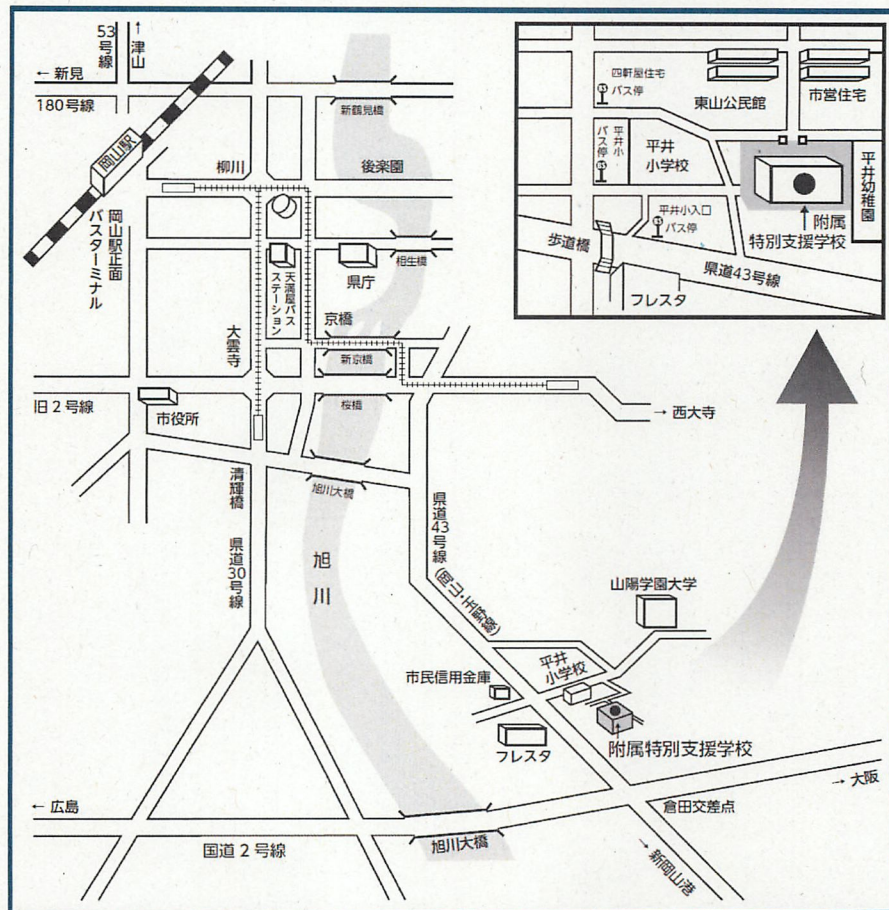


14.教職員

職名	校長	副校長	主事(教頭)	教諭	養護教諭	栄養教諭	常勤講師	非常勤講師	主査	事務補佐員	技能補佐員	臨時用務員	学校医	学校歯科医	学校薬剤師
数	1	1	3	22	1	1	1	2	2	1	2	2	4	1	1

[illegible]

学校案内図



公共交通機関のご案内

乗車バス（岡電バス）

新岡山港行
三幡南行
岡山ふれあいセンター行

のりば

岡山駅前バスステーション1番
天満屋バスステーション1番

所要時間

岡山駅より約30分
天満屋より約20分

降車場所

山陽学園経由は「四軒屋住宅」
新道経由は「平井小学校入口」
*いずれの停留所からでも、
徒歩約5分

スクールバスを運行しています

(原則は小学部の児童利用)

コースについて

県庁南→岡山駅→医学部東→網浜→本校





運動会（小学部）



学校祭 ステージ発表（中学部）



農耕班 作業学習（高等部）



陶芸班 作業学習（高等部）

